

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号		2960		3.利用用途別分類		スポーツ施設					
2.施設名		宮崎市田野運動公園		4.利用圏域別分類		地域					
5.所在地(町名・番地)		田野町乙9549		15.設置根拠法令		スポーツ基本法					
6.バス停		田野駅前(490m)		16.設置条例		宮崎市都市公園条例					
7.開設年月日		昭和54年4月1日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)		指定管理者(たのたい共同企業体)		18. 外観							
9.指定管理期間		平成30年4月1日～令和05年3月31日									
10.用途地域		第一種住居地域			19. 内部						
11.財産区分		公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		旧田野町域の複合運動施設として設立された。施設標高:135.8m施設概要:多目的グラウンド、野球場、テニスコート4面、武道場、弓道場		20.避難所の指定(標高)		— 0.00 m					
13.主な利用者		主にスポーツ少年団や社会人、高齢者の団体利用		21.投票所の指定		無					
14.利用者駐車可能台数		169台		22.土地情報		24.建物情報					
22. 土地情報	土地面積	92,813.00 m ²				総延床面積	1,174.35 m ²				
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	17163千円 (—)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・SRC・鉄筋鉄骨コンクリート				
	借受面積	0.00 m ²				建築年(主たる建物)	1981年				
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	70,625	126.3	55,908	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	308	100.3	307	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	229	125.8	182	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	2,436	99.1	2,459	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	14,997	587.4	2,553	—
	使用料(減免後)②	2,175	96.8	2,248	—		施設のコスト	14,247	790.2	1,803	—
	その他③	261	123.7	211	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	0.0	352	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	11,179	81.8	13,668	—		指定管理者の支出計⑨	10,475	79.7	13,135	—
	指定管理料⑥	10,570	80.7	13,091	—		施設のコスト	4,327	89.2	4,849	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	609	105.5	577	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	6,148	74.2	8,286	—		
収入合計⑦	13,615	84.4	16,127	—	支出合計⑩	25,472	162.4	15,688	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	0.0	14	—	28.工事請負費・修繕費	11,352	708.6	1,602	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	3,045	100.3	3,036	—	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	23,131	175.4	13,185	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	704	132.1	533	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	91	108.0	84	—		
32.施設所管課	スポーツランド推進課			33.施設主管課	スポーツランド推進課						

(2)施設評価シート

1.台帳番号	2960	3.利用用途別分類	スポーツ施設					
2.施設名	宮崎市田野運動公園	4.利用圏域別分類	地域					
5.基礎評価								
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D					
	品質評価の評価(偏差値)		47.1					
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		45.9					
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果 評価指標 平成29年度 偏差値 平均	築年数(棟平均)	31.600	年	45.9	26.600	年
			劣化度数(棟平均)	2.900	件	45.0	1.900	件
			耐震対応(棟平均)	4.800	点	51.6	4.700	点
			クレーム点数	4.000	点	47.2	4.300	点
			バリアフリー未対応(棟平均)	1.400	件	45.7	0.800	件
			評価値			47.1		
② 供給評価	② 供給評価 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果 評価指標 平成29年度 偏差値 平均	日あたり利用者数	229.000	人	61.4	155.000	人
			稼働率	23.100	%	43.6	31.100	%
			建物1㎡当たりの利用量率	0.195	人	49.7	0.200	人
			建物1㎡当たりの利用量率		台			台
			土地1㎡当たりの利用量率		人			人
			市負担額千円当たりの利用量	3.053		42.7	6.333	
評価値			49.4					
③ 財務評価	③ 財務評価 市負担割合の評価がかなり低い。 市負担額(ソフト)前年度の比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果 評価指標 平成29年度 偏差値 平均	市負担割合	90.810	%	36.8	54.483	%
			市負担額(ソフト)前年度比	101.700	%	41.0	68.400	%
			建物1㎡当たりの市負担額	19.697	千円	44.0	14.287	千円
			土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
			利用量当たりの市負担額	0.328	千円	47.6	0.281	千円
			評価値			42.4		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図 					
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2) 施設評価シート

		平成30年度施設評価	平成30年度
台帳番号	2960	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市田野運動公園	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から40年弱経過し老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等の対応を迫られている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後40年弱経過している。 【評価指標】劣化度点数【原因】老朽化が進んでおり、改修箇所が増えている 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修・利用方法等の要望が年に数件程度寄せられている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】階段手摺り、誘導用床材のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①稼働率(コマ利用・定員充足)、②建物1㎡当たりの利用量率、③市負担額千円当たりの利用量 【原因】①、②、③無料公園施設と有料公園施設を併せ持ち面積が広大である。また、平日の稼働率が低く全体を押し下げている。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①市負担割合、②市負担額(ソフト)前年度比、③建物1㎡当たりの市負担額、④利用量当たりの市負担額 【原因】①～④市負担額には無料施設の維持管理も含まれている一方で、無料施設の利用者数は計上(把握)されていないため	
5	定性的な要素の分 析(総括)	近隣に類似施設が点在している。そのため一体的に利用することで、大規模な各種大会の開催(誘致)が可能になり、市街地での施設不足を補完することが出来るとともに、田野町域のスポーツ振興に寄与する。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	B&G海洋センター(プール)、田野伝承芸能館、光団地、田野体育館、田野北地区公民館、下屋敷地区コミュニティ消防センター(第12部)消防団車庫、田野町文化会館、第2部消防倉庫消防団車庫、田野総合支所、田野駅自転車駐車場、木材町団地、田野小学校、田野総合福祉館ふれあいセンター、田野町児童センター、旧田野学校給食センター、田野中学校、南原1号街区公園、B&G海洋センター(体育館)外2箇所	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	田野体育館、宮崎市B&G海洋センター(体育館)、宮崎市B&G海洋センター(プール)、田野南農村運動広場、二ツ山農村運動広場	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	宮崎市街地から車で約30分、国道269号線から県道28号線へ進み、約3km。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】11,183人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030年代～2040年代 【建て替えの事業費(概算)】3.5億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	本施設は、田野町域住民における生涯スポーツの拠点施設であるだけでなく、野球場などについては、キャンプ期間中における市民の利用や大会の開催などの受け皿施設としての機能を有している。	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2960	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市田野運動公園	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の修繕更新費用を削減するため、必要な修繕を必要な時期に行う。 「質の向上」の取り組みとしては、利用者の増に組み込むほか、使用料の見直しを検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	施設建設後40年弱が経過し、老朽化が進み、また施設が多数存在するため、修繕・更新工事に対する年間維持管理費が増大している。今後は計画的な修繕に努めながら、施設の超寿命化に取り組んでいく。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	田野町域における中核スポーツ施設として利用者も多い。老朽化により維持管理費が必要となるが、稼働率を高めるなど効率的な施設経営に取り組む。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組を行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2960	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市田野運動公園	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の修繕更新費用を削減するため、必要な修繕を必要な時期に行う。 「質の向上」の取り組みとしては、利用者の増に組み込むほか、使用料の見直しを検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	施設建設後40年弱が経過し、老朽化が進み、また施設が多数存在するため、修繕・更新工事に対する年間維持管理費が増大している。今後は計画的な修繕に努めながら、施設の超寿命化に取り組んでいく。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外するとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	田野町域における中核スポーツ施設として利用者も多い。老朽化により維持管理費が必要となるが、稼働率を高めるなど効率的な施設経営に取り組む。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組 ※30が「廃止」以外するとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3170	3.利用用途別分類	スポーツ施設								
2.施設名	宮崎市久峰総合公園	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	佐土原町下那珂13761-7	15.設置根拠法令	都市公園法								
6.バス停	佐土原高校前(370m)	16.設置条例	宮崎市都市公園条例								
7.開設年月日	平成2年1月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(一財)みやざき公園協会)	18. 外観									
9.指定管理期間	平成31年4月1日～令和06年3月31日		19. 内部								
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	佐土原町のほぼ中央に、スポーツ団体だけではなく、地域ぐるみ、家族ぐるみで楽しめる施設として設置。豊かな緑に包まれた都市公園で、憩い、スポーツ、イベントの出来る場として、市内外の多くの人々に利用されている。指定管理者名:一般財団法人みやざき公園協会、標高:41.4m										
13.主な利用者	市民及び周辺自治体住民		20.避難所の指定(標高)	指定避難所	41.40 m						
14.利用者駐車可能台数	520台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	197,255.69 m ²				24. 建物情報	総延床面積	1,732.45 m ²			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	477783千円 (－)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	1997年			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	利用者数	75,621	97.9	77,223	－		市の収入計① (②+③)	12,377	91.2	13,575	－
	開館日数	359	100.0	359	－		使用料(減免後)②	11,745	94.4	12,446	－
利用率	211	98.1	215	－	その他③	632	56.0	1,129	－		
					《参考》 使用料減免額④	379	89.6	423	－		
					指定管理者の収入計⑤	44,280	101.3	43,722	－		
					指定管理料⑥	41,562	101.0	41,144	－		
					利用料金収入	0	－	0	－		
					自主事業収入	2,008	103.9	1,932	－		
					その他収入	710	109.9	646	－		
					収入合計⑦	56,657	98.9	57,297	－		
					26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		
						千円	前年度比%	千円	前年度比%		
					市の支出計⑧ (指定管理料除く)	14,825	299.1	4,956	－		
					施設のコスト	14,075	334.6	4,206	－		
					事業のコスト	0	－	0	－		
					人に係るコスト	750	100.0	750	－		
					指定管理者の支出計⑨	48,144	106.0	45,398	－		
					施設のコスト	25,157	115.2	21,831	－		
					自主事業以外のコスト	0	－	0	－		
					自主事業のコスト	915	75.5	1,212	－		
					人に係るコスト	22,072	98.7	22,355	－		
					支出合計⑩	62,969	125.1	50,354	－		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	3	95.1	3	－	28.工事請負費・修繕費	12,668	352.9	3,590	－		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	15,095	93.5	16,153	－	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	44,010	135.3	32,525	－		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 3,864	230.5	△ 1,676	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	70	108.2	65	－		
32.施設所管課	スポーツランド推進課		33.施設主管課	スポーツランド推進課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3170	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市久峰総合公園	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	D			
	品質評価の評価(偏差値)	49.5			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	45.6			
① 品質評価 クレーム点数の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	23.400 年	52.7	26.600 年
		劣化度点数(棟平均)	0.200 件	58.5	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	3.000 点	37.7	4.300 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.700 件	43.6	0.800 件
		評価値	49.5		
② 供給評価 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	211.000 人	58.5	155.000 人
		稼働率	50.800 %	65.9	31.100 %
		建物1㎡当たりの利用量率	0.122 人	44.8	0.200 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	1.718	39.7	6.333
		評価値	52.2		
③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年度の比の評価がかなり低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。 利用量当たりの市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		市負担割合	69.890 %	44.4	54.483 %
		市負担額(ソフト)前年度比	108.300 %	39.2	68.400 %
		建物1㎡当たりの市負担額	25.403 千円	37.7	14.287 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	0.582 千円	34.7	0.281 千円
		評価値	39.0		
品質評価の分布図					
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3170	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市久峰総合公園	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	スポーツ施設であると共に公園機能も併せ持つため、有料施設のみならず無料施設にも維持管理費を要している	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修・利用方法等の要望が年に数件程度寄せられる	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①建物1㎡当たりの利用量率、②市負担額千円当たりの利用量 【原因】①、②無料公園施設(多目的広場や遊具広場など)と有料公園施設を併せ持ち面積・設備が 広大であるため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①市負担割合、②市負担額(ソフト)前年度比、③建物1㎡当たりの市負担額、④利用量 当たりの市負担額 【原因】①～④市負担額には無料施設の維持管理も含まれている一方で、無料施設の利用者数は 計上(把握)されていないため	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地域に同じ利用用途の施設は点在しているが、屋外スポーツ施設は少ない。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	佐土原武道館、光陽台地区学習等供用施設、小牧台地区学習等供用施設、広瀬中央保育所、久峰 中学校、春日台地区学習等供用施設、久谷地区学習等供用施設、広瀬北小学校、佐土原町清掃セ ンター、北消防署北部出張所、光ヶ丘団地、久峰団地、第三光ヶ丘終末処理場、旭町団地。	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	佐土原体育館、佐土原地区農村環境改善センター、佐土原武道館、佐土原西体育館、那珂地区農 業構造改善センター、佐土原西運動広場	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	主要地方道宮崎インター佐土原線の佐土原駅交差点から1.5km西進した位置にある、また最寄バス 停は徒歩3分の位置にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(佐土原) 【現在の人口】34,359人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030年代～2040年代 【建て替えの事業費(概算)】5.1億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度	
台帳番号	3170	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市久峰総合公園	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の修繕更新費用を削減するため、必要な修繕を必要な時期に行う。 「質の向上」の取り組みとしては、利用者の増に組み込むほか、使用料の見直しを検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	平成2年開設施設で一部劣化は見られるものの、重大な不具合は生じていない。今後も定期的・日常的施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	供給については概ね平均以上である。財務に関しては無料施設を兼ね備えていることから平均点を下げているが、今後は負担額の削減のために、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に組み込み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3170	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市久峰総合公園	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の修繕更新費用を削減するため、必要な修繕を必要な時期に行う。 「質の向上」の取り組みとしては、利用者の増に組み込むほか、使用料の見直しを検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	平成2年開設施設で一部劣化は見られるものの、重大な不具合は生じていない。今後も定期的・日常的施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外るとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	供給については概ね平均以上である。財務に関しては無料施設を兼ね備えていることから平均点を下げているが、今後は負担額の削減のために、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組 ※30が「廃止」以外るとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に組み込み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号	2320	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市天ヶ城公園(スポーツ施設)	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	高岡町内山2007	15.設置根拠法令	都市公園法		
6.バス停	上高岡(530m)	16.設置条例	宮崎市都市公園条例		
7.開設年月日	昭和57年3月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎ビルサービス株式会社)	18. 外観	 		
9.指定管理期間	平成30年4月1日～令和05年3月31日				
10.用途地域	第二種低層住居専用地域		19. 内部	 	
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	高岡町民のスポーツ振興、健康増進のための屋外施設として整備され、公園内には野球場、体育館、弓道場がある。体育館は標高70mの高台に位置し、桜の時期には天ヶ城桜まつりが開催されるなど、市民のレクリエーション活動の中心となっている。				
13.主な利用者	地区住民、市内在住者、スポーツ団体、スポーツ愛好家	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	70.00 m	
14.利用者駐車可能台数	112台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	2,216.78 m ²			
	現況地目	公園			
	土地所有形態				
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	27,986	92.2	30,351	-
	開館日数	308	100.0	308	-
	利用率	91	91.9	99	-
24. 建物情報	総延床面積	2,216.78 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	489028千円 (一)			
	階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1982年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		1,578	111.9	1,410	-
使用料(減免後)②		1,508	107.7	1,400	-
その他③		70	700.0	10	-
《参考》 使用料減免額④		96	78.7	122	-
指定管理者の収入計⑤		4,410	40.9	10,786	-
指定管理料⑥		4,410	41.7	10,581	-
利用料金収入		0	-	0	-
自主事業収入		0	0.0	205	-
その他収入	0	-	0	-	
収入合計⑦	5,988	49.1	12,196	-	
26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	978	59.2	1,653	-
	施設のコスト	228	25.2	903	-
	事業のコスト	0	-	0	-
	人に係るコスト	750	100.0	750	-
	指定管理者の支出計⑨	9,401	101.5	9,266	-
	施設のコスト	3,024	65.5	4,614	-
	自主事業以外のコスト	33	-	0	-
	自主事業のコスト	0	0.0	123	-
人に係るコスト	6,344	140.1	4,529	-	
支出合計⑩	10,379	95.1	10,919	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	6	74.7	8	-	
28.工事請負費・修繕費	0	0.0	351	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	1,578	97.7	1,615	-	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	△ 4,991	△ 328.4	1,520	-	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	3,810	35.2	10,824	-
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	37	37.0	99	-
32.施設所管課	スポーツランド推進課		33.施設主管課	スポーツランド推進課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3230	3.利用用途別分類	スポーツ施設																																
2.施設名	宮崎市天ヶ城公園(スポーツ施設)	4.利用圏域別分類	地域																																
5.基礎評価																																			
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																																
	品質評価の評価(偏差値)		46.3																																
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		51.0																																
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果 築年数(棟平均) 劣化度数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>33.900 年</td> <td>44.0</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>1.800 件</td> <td>50.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>4.600 点</td> <td>48.4</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>4.000 点</td> <td>47.2</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>2.000 件</td> <td>41.5</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>46.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	33.900 年	44.0	26.600 年	劣化度数(棟平均)	1.800 件	50.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	4.600 点	48.4	4.700 点	クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	41.5	0.800 件	評価値		46.3					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			築年数(棟平均)	33.900 年	44.0	26.600 年																													
			劣化度数(棟平均)	1.800 件	50.5	1.900 件																													
			耐震対応(棟平均)	4.600 点	48.4	4.700 点																													
			クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点																													
バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	41.5	0.800 件																																
評価値		46.3																																	
② 供給評価	② 供給評価 利用率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価がかなり低い。	指標の結果 日あたり利用者数 稼働率 建物1㎡当たりの利用率 建物1㎡当たりの利用率 土地1㎡当たりの利用率 市負担額千円当たりの利用量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>91.000 人</td> <td>40.2</td> <td>155.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>18.200 %</td> <td>39.7</td> <td>31.100 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用率</td> <td>0.041 人</td> <td>39.4</td> <td>0.200 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>7.345</td> <td>52.3</td> <td>6.333</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>42.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	91.000 人	40.2	155.000 人	稼働率	18.200 %	39.7	31.100 %	建物1㎡当たりの利用率	0.041 人	39.4	0.200 人	建物1㎡当たりの利用率				土地1㎡当たりの利用率				市負担額千円当たりの利用量	7.345	52.3	6.333	評価値		42.9	
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			日あたり利用者数	91.000 人	40.2	155.000 人																													
			稼働率	18.200 %	39.7	31.100 %																													
			建物1㎡当たりの利用率	0.041 人	39.4	0.200 人																													
			建物1㎡当たりの利用率																																
土地1㎡当たりの利用率																																			
市負担額千円当たりの利用量	7.345	52.3	6.333																																
評価値		42.9																																	
③ 財務評価	③ 財務評価 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額	指標の結果 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>36.710 %</td> <td>56.5</td> <td>54.483 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>36.400 %</td> <td>58.7</td> <td>68.400 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>1.719 千円</td> <td>63.9</td> <td>14.287 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.136 千円</td> <td>57.3</td> <td>0.281 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>59.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	36.710 %	56.5	54.483 %	市負担額(ソフト)前年度比	36.400 %	58.7	68.400 %	建物1㎡当たりの市負担額	1.719 千円	63.9	14.287 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.136 千円	57.3	0.281 千円	評価値		59.1					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			市負担割合	36.710 %	56.5	54.483 %																													
			市負担額(ソフト)前年度比	36.400 %	58.7	68.400 %																													
			建物1㎡当たりの市負担額	1.719 千円	63.9	14.287 千円																													
			土地1㎡当たりの市負担額																																
利用量当たりの市負担額	0.136 千円	57.3	0.281 千円																																
評価値		59.1																																	
品質評価の分布図																																			
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																			
供給評価(横) / 財務評価(縦)																																			

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3230	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市天ヶ城公園(スポーツ施設)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	施設建設から36年以上経過しており老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】築年数、耐震対応【原因】老朽化が進んでおり、外内壁にひびがある。 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修・利用方法等の要望が年に数件程度寄せられている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】スロープや点字ブロック等が設置されていない	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】①利用率、②稼働率(コマ利用・定員充足)、③建物1㎡当たりの利用率【原因】①、②、③施設利用者の多くが地域住民でほぼ限定されており、新規利用者が少ないため	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	地域に同じ利用用途の施設は点在しているが、屋外スポーツ施設は少ない	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	龍福寺墓園、練士館、高岡総合支所、宮崎市高岡地区農村環境改善センター、高岡小学校、高岡トレーニングセンター、宮崎市高岡学校給食センター、高岡福祉保健センター「穆園館」、旧林業研修センター、中央ふれあい広場、高岡中学校、柳団地、旧高岡町有住宅、寺田団地	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	内山体育館、高岡トレーニングセンター、練士館(練士館道場)、東高岡体育館、穆佐体育館、サンスポーツランド高岡	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	体育館が指定避難所になっている	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	国道10号線、高岡バイパス中心部「高岡町内山」付近	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(高岡) 【現在の人口】11,254人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】6.5億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3230	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市天ヶ城公園(スポーツ施設)	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点未満で、築36年以上を超え老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検および的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	供給・財務が平均点未満となっているが、本市における総合的なスポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3230	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市天ヶ城公園(スポーツ施設)	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点未満で、築36年以上を超え老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検および的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	供給・財務が平均点未満となっているが、本市における総合的なスポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3300	3.利用用途別分類	スポーツ施設									
2.施設名	宮崎市サンスポーツランド高岡	4.利用圏域別分類	地域									
5.所在地(町名・番地)	高岡町小山田3870	15.設置根拠法令	スポーツ基本法									
6.バス停	穆佐小前(260m)	16.設置条例	宮崎市運動広場条例									
7.開設年月日	昭和63年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する									
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎ビルサービス株式会社)	18. 外観										
9.指定管理期間	平成30年4月1日～令和05年3月31日		19. 内部									
10.用途地域	その他											
11.財産区分	公共用											
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	市民の体育及びレクリエーション活動に供するため(条例第1条)・高岡町の土地に雇用能力開発機構が整備を行い、昭和63年4月から供用開始。平成15年3月31日に雇用能力開発機構と高岡町との間に売買契約(10,500円)が成立し、高岡町所有となる。高岡町のスポーツ拠点施設。テニスコートの利用者が多い施設。<標高11.0m>											
13.主な利用者	スポーツ団体、スポーツ愛好者		20.避難所の指定(標高)	指定避難所	11.00 m							
14.利用者駐車可能台数	250台		21.投票所の指定	無								
22. 土地情報	土地面積	30,639.00 m ²				24.建物情報	総延床面積	202.00 m ²				
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	10千円 (－)				
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	1988年				
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度			法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%		建物所有状況	市有物件				
	利用者数	27,565	90.2	30,556	－		借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	308	100.0	308	－		耐震対応(主たる建物)	対応済				
	利用率	89	89.9	99	－		未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%	
	市の収入計① (②+③)	3,537	96.5	3,666	－			市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,213	136.1	891	－
	使用料(減免後)②	3,437	96.4	3,564	－			施設のコスト	463	328.4	141	－
	その他③	100	98.0	102	－			事業のコスト	0	－	0	－
	《参考》 使用料減免額④	7	700.0	1	－			人に係るコスト	750	100.0	750	－
	指定管理者の収入計⑤	4,410	41.2	10,711	－			指定管理者の支出計⑨	8,951	128.6	6,960	－
	指定管理料⑥	4,410	41.7	10,581	－			施設のコスト	1,889	80.4	2,350	－
	利用料金収入	0	－	0	－			自主事業以外のコスト	718	－	0	－
	自主事業収入	0	0.0	130	－			自主事業のコスト	0	0.0	81	－
その他収入	0	－	0	－		人に係るコスト	6,344	140.1	4,529	－		
	収入合計⑦	7,947	55.3	14,377	－		支出合計⑩	10,164	129.5	7,851	－	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	724.6	0	－	28.工事請負費・修繕費	0	0.0	141	－			
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	3,537	93.2	3,796	－	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,086	26.7	7,806	－			
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 4,541	△ 121.1	3,751	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	21	20.6	99	－			
32.施設所管課	スポーツランド推進課		33.施設主管課	スポーツランド推進課								

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3300	3.利用用途別分類	スポーツ施設																														
2.施設名	宮崎市サンスポーツランド高岡	4.利用圏域別分類	地域																														
5.基礎評価																																	
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																														
	品質評価の評価(偏差値)		42.8																														
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		57.6																														
① 品質評価	① 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がきわめて低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>29.000 年</td> <td>48.0</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>6.000 件</td> <td>29.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>4.000 点</td> <td>47.2</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>3.000 件</td> <td>34.4</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>42.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	29.000 年	48.0	26.600 年	劣化度点数(棟平均)	6.000 件	29.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	34.4	0.800 件	評価値		42.8			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																												
		築年数(棟平均)	29.000 年	48.0	26.600 年																												
		劣化度点数(棟平均)	6.000 件	29.5	1.900 件																												
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																												
		クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点																												
バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	34.4	0.800 件																														
評価値		42.8																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>89.000 人</td> <td>39.9</td> <td>155.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>32.100 %</td> <td>50.8</td> <td>31.100 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.443 人</td> <td>66.1</td> <td>0.200 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>13.214</td> <td>65.3</td> <td>6.333</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>55.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	89.000 人	39.9	155.000 人	稼働率	32.100 %	50.8	31.100 %	建物1㎡当たりの利用量率	0.443 人	66.1	0.200 人	建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	13.214	65.3	6.333	評価値		55.5	
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
日あたり利用者数	89.000 人	39.9	155.000 人																														
稼働率	32.100 %	50.8	31.100 %																														
建物1㎡当たりの利用量率	0.443 人	66.1	0.200 人																														
建物1㎡当たりの利用量率																																	
土地1㎡当たりの利用量率																																	
市負担額千円当たりの利用量	13.214	65.3	6.333																														
評価値		55.5																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>20.520 %</td> <td>62.3</td> <td>54.483 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>27.200 %</td> <td>61.2</td> <td>68.400 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>10.327 千円</td> <td>54.4</td> <td>14.287 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.076 千円</td> <td>60.4</td> <td>0.281 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>59.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	20.520 %	62.3	54.483 %	市負担額(ソフト)前年度比	27.200 %	61.2	68.400 %	建物1㎡当たりの市負担額	10.327 千円	54.4	14.287 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.076 千円	60.4	0.281 千円	評価値		59.6					
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
市負担割合	20.520 %	62.3	54.483 %																														
市負担額(ソフト)前年度比	27.200 %	61.2	68.400 %																														
建物1㎡当たりの市負担額	10.327 千円	54.4	14.287 千円																														
土地1㎡当たりの市負担額																																	
利用量当たりの市負担額	0.076 千円	60.4	0.281 千円																														
評価値		59.6																															
品質評価の分布図																																	
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																	

(2) 施設評価シート

		平成30年度施設評価	平成30年度
台帳番号	3300	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市サンスポーツランド高岡	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から30年以上経過しており老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】劣化度数【原因】施設建設後30年以上経過しており、外壁のひび割れなどがある。 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修・利用方法等の要望が年に数件程度寄せられている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】スロープや点字ブロック等が設けられていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	【評価指標】①利用率、②稼働率、③建物1㎡当たりの利用率【原因】①、②、③グラウンドが広く、 また少人数で行うテニスコートも多くあるため 【評価指標】④市負担額千円当たりの利用量【原因】利用量が少なく、サッカーゴールネット等を購入 したため	
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	【評価指標】①市負担割合、③建物1㎡当たりの市負担額、④利用量当たりの市負担額【原因】①、 ③、④利用料が少なく、サッカーゴールネット等を購入したため 【評価指標】②市負担額(ソフト)前年度比【原因】②指定管理料に対し使用料収入が少ないため	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地域に同じ利用用途の施設は点在しているが、屋外スポーツ施設は少ない	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	児童クラブ(穆佐小学校)、穆佐体育館、旧穆佐小学校、高岡老人福祉館「百寿荘」、宮崎市高岡デ イサービスセンター、宮崎市小山田集会所、穆佐団地、(旧)穆佐中学校、宮崎市高岡消防団第1分 団第1部消防団車庫、穆佐小学校、宮崎市農業団地センター、穆佐水防倉庫、八久保団地	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	内山体育館、天ヶ城公園(スポーツ施設)、高岡トレーニングセンター、練士館(練士館道場)、東高 岡体育館、穆佐体育館	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号線「高岡町営水流」交差点より県道13号線を南西方向へ進み(途中県道352号線とな る)、「宮崎市麓」交差点付近。バス停「穆佐小前」近く	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(高岡) 【現在の人口】11,254人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】1.0億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3300	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市サンスポーツランド高岡	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点未満で、築30年を超え老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検および的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	供給・財務が平均点未満となっているが、本市における屋外スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3300	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市サンスポーツランド高岡	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点未満で、築30年を超え老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検および的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外するとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	供給・財務が平均点未満となっているが、本市における屋外スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取り組み ※30が「廃止」以外するとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	